

## 第4回二宮町行政改革検討委員会 会議要旨

開催日時		平成27年7月27日（月）10時00分～12時00分
開催場所		町民センター2階 2Aクラブ室
出席者	委員	出席7名 後藤伸委員、手塚明美委員、廣上正市委員、柳川幸司委員、佐久間良輔委員、水口圭三委員、露木孝子委員
	その他	傍聴 3名
	町職員	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4次二宮町行政改革大綱策定に係る意見書（案）について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>
配布資料		資料1 第4次二宮町行政改革大綱策定に係る意見書（案） 参考資料 第4次二宮町行政改革大綱（素案） 第4次二宮町行政改革大綱の体系図（案）

## ■会議概要

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 議 題 【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

#### （1）第4次二宮町行政改革大綱策定に係る意見書（案）について

◎最初から順番に確認を行っていく。

##### 1. 二宮町の行政改革

これまでの町の取り組みのため修正はなしと思われる。

##### 2. 第4次二宮町行政改革大綱の策定に向けて

アウトプットの表記では意味合いが変わってくると思われる。

途中処理回数などの表記に変更ではどうか。

##### 3. 検討経過

修正はなしと思われる。

#### 4. 大綱の3つの基本方針に関する意見と取り組むべき項目について

##### （1）組織体制の強化

○ICT化など分からない表記が多く注釈が必要ではないか。

○ITの間にコミュニケーションが入っているのがICTという表記となっている。

○ワンストップ化やインソーシングなども分かりづらいのではないか。

○町長へ答申する際は問題ないが、公表する際はわかりやすくする必要があるのではないか。

○新聞などで使用している表現は問題ないのではないか。

○ワンストップ化は一つの窓口で全て行えると誤解されるため説明を追加した方が良い。

本来は、適正に担当窓口へ案内を行い、たらいまわしが発生しないよう取り次ぐ方法がワンストップ化です。

○インソーシングは外に出している仕事を内部に戻すという意味合いになるため、アウトソーシングの推進には適切な使い方ではなく、削除する必要がある。

「町がやらなければならないコア業務と外部に出せる業務を振り分け、真に取り組むべきコア業務に職員の力を注ぐことを望みます。」と表記を変更してはどうか。

○体系図における「アウトソーシングの推進」の具体的な取り組みとして「業務内容の見直し」を「業務内容の見直しと外部委託」と表記したらどうか。

◎体系図は検討委員会としての検討事項となるのか。

●体系図は今回の意見書を基に策定する大綱に反映し、記載される。

##### （2）持続可能な財政の確立

○未利用地の整理活用は意見書に記載していく必要がある。

未利用地をそのままにしておくことは財政を圧迫するので、早期に整理・活用を推進する必要がある。体系図における「自主財源の確保」の具体的な取り組みとして「未利用地の整理・活用」は取り組みの重要度からも上段に記載を移す必要がある。

○未利用地の現在の状況はどのようになっているのか。

●現在、大型の未利用地としては、東大果樹園跡地と国立小児病院跡地、正泉寺がある。今年度中には町全体として未利用地の活用などについて検討を始めていきたいと考えている。

○維持管理計画を策定する上で、町民や団体における団体とはどの団体を示すのか。

●公園愛護会などの町民団体を示している。

◎団体という表記は記載内容に応じて表記の変更をしていく必要がある。

●事業者としての団体を表記していないため町民団体としていく。

○ボランティアになるのか。

○町民団体やNPO法人として対価をもらって活動している場合もある。

- 地区会館などの管理をすでに地区に任せているところもあることから町民団体としている。
- 施設によっては町民団体ができないのではないかな。
- これまでの議論の中で指定管理についてはアウトソーシングの推進として整理している。
- 公共施設維持管理の効率化を個別項目として起こしたほうがよいのではないかな。
- 前回の議論で削除した経過がある。
- 町民団体に任せるという表記は変更した方がよいのでは。
- 管理費を軽減する意味での表記に変更ではないかな。
- 維持管理計画の中で維持費の軽減を検討する上で外部委託や町民や町民団体の参画を検討していくという表記ではどうか。
- 公共施設再配置全体計画の策定と実施計画策定の意味がわかりづらい。
- 全体計画については全ての公共施設の計画を策定していくものであり、全体計画に基づいて個別の実施計画を策定していくものとなっている。
- ◎再度追加する項目を確認したい。
- 維持管理計画を策定する上では、維持管理に対する事業分析を行い、外部委託や町民団体などに管理を任せるとを含めて、検討を行っていくことを追加していく。
- 公共施設の有効活用について、利用率の向上と利用価値を高めることを併せて進めていく必要がある。
- 例えば、保健センターなどは暗いイメージがあり、利用しているのかわからない。
- ふたみ記念館の用途変更を行い、利用価値が高まったと思う。他の施設も検討を行い、利用価値を高めていくことが必要ではないかな。
- 受益者負担の適正化など歳入を増やす施策を取り入れる必要がある。
- 例えば、歳入を増やすために民間（営利）団体も施設利用が行えるように変更を行い、町民団体と区分して料金設定を変えたらどうか。
- 施設を使う側に立った時間設定に変更し午前、午後という設定ではなくある程度時間単位に変更し、利用者を増やし、利用率を上げる方法を検討する必要がある。
- 町民利用だけでなく営業利用ができるように変更している施設もある。

### （3）多様な主体との協働

- 主体的な活動をしている町民や団体という表記について、主体的を自主的に、団体は町民団体という表記に変更する必要がある。
- 本来、自主的な活動をしている町民や町民団体が多様な主体となっていくもの。主体的な活動は自主的に活動した結果である。
- 「官学連携の推進」からという表記ではなく官学連携の推進していく観点からではないかな。
- また、学生ボランティアがまちづくりに参画ではなく、学生がまちづくりに参画するもの。ボランティアと書いて欲しくない。
- ボランティア活動が健康寿命を延ばすという表記は正しい。
- 意見書と大綱においても主体的という表記を自主的と変更していく。
- 社会福祉協議会との連携などは表記として追加していく必要があるのではないかな。
- 多様な主体の一つの団体のため、個別団体は細くなるので意見書に記載していく必要はないと思われる。
- 組織体制の強化として職員が明るいイメージと職場を作ることも必要。大綱へ整理整頓などの5Sは記載が必要である。
- 定量的な目標としてKPIをしっかりと示し、PDCAを行い行政改革を進めていく必要がある。
- 体系図における個別項目に目標設定をして実施していく。
- 具体的な取り組みに目標設定した方がよいのではないかな。
- 前は具体的な取り組みに目標設定をし、目標設定が会議回数などの定性的設定になってしまったことを踏まえた結果、今回は個別項目に設定している。
- 行政改革本部幹事会のワーキンググループにおいて目標設定を現在行っている。
- KPIなどをチェックしていきたい。
- 意見書を町長へ提出した後、意見書を基に本部で大綱を確定する。庁内で検討しているワーキンググループにおいて推進計画を策定し、進捗状況は年度ごとに公表をしていく。

○行政改革検討委員会は意見書までの作成までとの解釈か。  
◎町長の諮問について意見書により答申を行うものと考えている。答申後は、町長が行政改革を進めていくものと考えている。

#### 5 おわりに

○民生費という表記はわかりづらいため、社会保障費に変更する必要がある。  
「職員・町民」という表記はまとめにあたるため町民と職員が一体となるような表記に変更が必要でないか。  
○行政改革を実行性のあるものにするには外部評価委員などの第3者委員会を設ける必要があると表記が必要ではないか。  
○定住人口の確保は町の施策として考えるのでは位置付けとして弱く、重要事項とするべきではないか。あわせて国全体の話ではなく、二宮町の話としてまとめる必要がある。  
○人口が1割減る場合、税収が1割減るものと考えてのが普通である。仕事を減らさないと人を減らせない。仕事の無駄を省いてスリムにしておく必要があり、合理化するために仕事の無駄を見定めて見直す必要がある。

#### (2) その他について

○大綱7ページにおけるア. 町民参画の仕組みづくりの表記の変更が必要。  
◎今月末までに事務局において意見書の修正及び議事録を送付しますので、確認と修正を委員の方にはお願いしたい。8月12日には再修正した意見書を送付し、語句の変更等を修正後、町長へ意見書を提出していく。

#### 7. 閉 会